

「ちょっとした小遣い稼ぎになるから」と、カード決済でJR新幹線チケットを購入して渡せば、カード決済までに5%~6%の手数料を付けて振り込みをする。という手法の詐欺が兵庫県を中心に行われていた。

被害額は数千万円とも数億円とも臆されています。

神戸北警察署では組織的な詐欺まで視野に入れて捜査がされているようです。

一昨年から行われていた新幹線チケット詐欺の主は、神戸市北区在住、神戸市兵庫区で紳士服オーダーメイドの業をしている濱岡正典です。

濱岡は仕事上で知り合った数十人の方に「新幹線チケットをカードで購入して私に渡してもらえば、カード決済までに手数料を加算して振り込みます」と声をかけていった。

最初のうちは濱岡と濱岡の知人と称する女性が新幹線チケットを受け取りに来て、正常に振り込みはなされていたという。

最初は10万円が段々と増額され100万円になり200万円になっていったといいます。

小額の決済を履行していて被害者を信じ込ませて増額することができたもの(被害者談)だったようです。

昨年からは物品購入でも利益が上がるとかで、カードで100万円以上の高級楽器もカード決済で購入していたようですし、民泊の投資話を持ちかけて、その投資話にも乗った方がいたようです。

様相が変わったのは昨年10月。

振り込みが遅れだし連絡もつきにくくなってきて濱岡の所在が不明になってきたのです。

しかし最後に濱岡に会った被害者に状況を問い詰められる供述しています。

濱岡は「民泊案件の実態なく、みなさんに購入してもらった回数券を金券ショップで現金化し、それぞれの方へ配当していた。パートナーが脳梗塞になったと言うのもウソです」「すべてウソです。儲け話を持ちかければ人はお金をだしてくれると思い、ウソの投資話を持ち掛けました」「岡川さんにもアドバイスをもらっていた。(岡川は濱岡の浮気相手で某化粧品メーカーのショップを経営している)」

しかしながら、以上のように泣きながら供述した濱岡は時間後に自主催の音楽のイベントを行い、笑いながらその日を終えたことです。

現在、濱岡は自宅へは帰らず行方をくらましている状況で、共犯者の疑いの有る女性は取材に対して居留守を使っている状況ですが、多くの被害者は神戸北警察署に被害を申し出ています。

濱岡が共犯者の疑いの有る女性共々逮捕される日は遠くないでしょう。